

DOM

Eld: Kou MUKAI

2-12-2 ASAHIMACHI ABENO, OSAKA, JAPAN

10. Jul. '82. No. 260

通信 向井 孝

大阪市阿倍野区旭町 2-12-2



▼いま、ぼくの四大時中、頭の中の半分を占めているのは、九月五日のハハラ大集会のこと、とくにどうやってたくさんの人に参加してもらえたか、この種の集りは、大阪ではまあ五千人、最大の努力をしても前例的には百人を超すくらい、せめて三百人、四百人のものにしたい、そのことに賭けてこの七八月は全力投球しようと思っている。ぼくの生涯に刻むイベントとして、

▼といつて、どれだけぼくが思いこんだって、到底それは覚束ないこともたしかだ。つまりぼくの未知の人脉とつながりの人にとれだけこの期間中に会合をうかが、それと、日頃の交遊によつて、ぼくの知己友人先輩たちが、支後の支援という、あいつのやることがあまほしうがない...といつたことをも含めて、この集会のひろがりのための助っ人に、どれだけ応じて下さるかである。日頃の疎遠や勝手なままさらし出しながら、たいていお力添えをとお願ひする。

▼このごろは「その日その日」といつた緊張感がだんだんうすれてきて、せいぜい留意するのは名ばかりのこと。もうその時はその時や、のんびり気分。

▼6月18日 軍費費不払い特別講座・入草の根の反戦がはじまるときー 箕面忠魂碑訴訟の神坂玲子さんを囲んでー

いままで神坂さんの話を何回もきいたが、この夜の話が一番おもしろく、感動的だった。はじめは部屋一ぱい起立席の上でNHKがまひるさながらのライトをもちこんで撮影のワラケ校の時ドキュメンタリー放映したりしていたので、ちよつと閉苦しいムードだったが、だんだんいつのも雰囲気になつて、笑つたり、大声をあげたり、すっかり井戸端会議的。

書面は、ほとんども一人(神坂さんのダンナ)がつくつた。へそれをみんが内輪同士の気持で叩くというやり方をした。④ 弁護士なしだと原告の結束は、いやあうなくつよまる。① 素人だというところで、何でもなせる。それを意識的に使った点もある。

⑤ 喜怒哀楽を自分のものとして裁判をすゝめることができた。★ 忠魂碑に公共団体がお金を出すということは、一つの生きかた、つまり一人の人間の死に方をよしとすることにおいて、他の生きかたに死に方を差別的に区分することだ、宗教性あるいは憲法上の問題だけにこぼれぬ。★ 原告9人のうち6人は女、男3人はその女性たちのダンナ。何故女が多いかという点、地域で男同士のつきあいはない、女はいずれも専業主婦で、PTAや何かで知りあった仲。女だからこそできた。女がやるのは何かと大へんだったろうと云われるが、



6月30日 つるが 運動事務所付近 路上

▼6月22日 原田連・反原発大寺川屋へあ、恐ろしや高野増殖炒もんじゅ」 中川さんの具体的な現地状況報告と、四月不払い連で抱いた中島哲彌さんの声が重なつて、教員へいかにかぬか、いささか迷つていたのが、やはりいこうということにー。

▼6月23日 関西電力株主総会 総勢14名、商法改正で次回から出られないかもしれないと云うわけで、盛大なサヨナラ大パーティーのつもり、あんたらが総会屋やつたらスゴイつけ届けがくるのにーと、ご同業が、ぼくらの総会演説ぶりにほとほと感心してはりました。午前から引続き、地下鉄の駅をめぐりする会の、対市交通局交渉・助っ人として乗り込み。

▼6月26日 神戸エンカウ ンタースクール・シネマックス・ヘリテージのメロディ

上映・映画が感動的でした。映るの、いささか白けるおもいだつたが、約25分、一理代と大佐事件」というテーマで、東アジア反日武装戦線のことなどにふれて、一生けん命ぼくのおもいをしゃべらせてもらった。人前で講演ぶりに話すことを一切とわつたので、ほんとに久しぶりである。

▼6月28日 市民市民運動連絡会、ハンフツくり打合せ

会 中北・加島両弁護士を中心に、ヘビラマギ、ステハリ、榎向不審尋問、ガサ入れ、逮捕について、わかりやすい対策の

